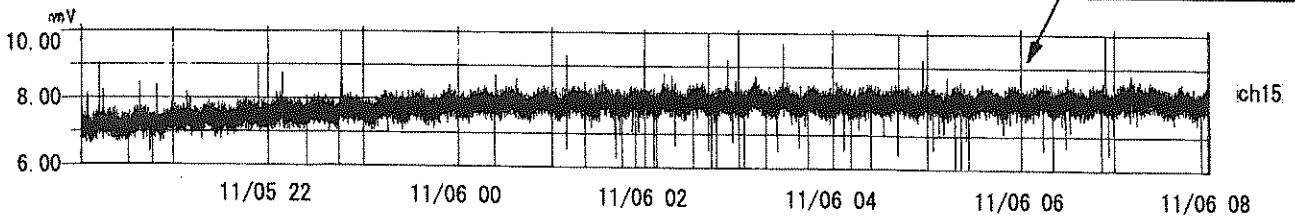
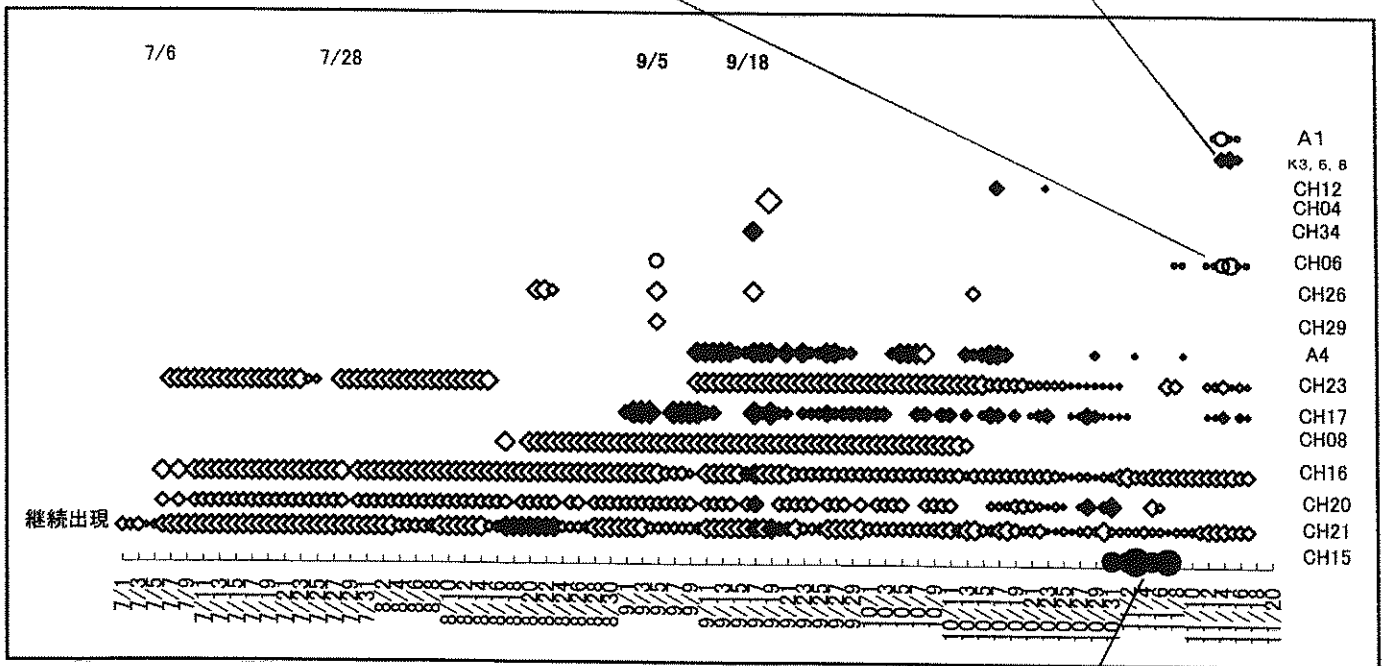
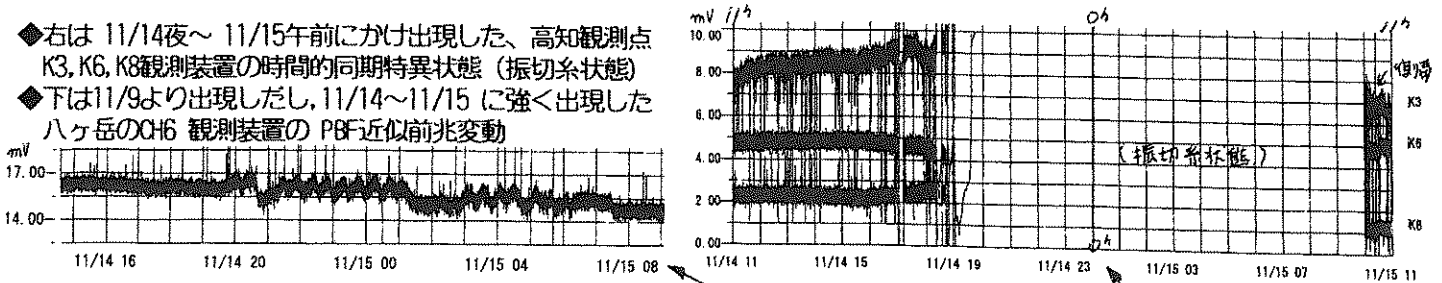


原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 近畿圏領域地殻大型地震の可能性推定前兆 続報 現況報告
前兆継続中→現認識が誤り→発生はより先の可能性有

- ◆右は 11/14夜～11/15午前にかけて出現した、高知観測点 K3, K6, K8観測装置の時間的同期特異状態 (振切糸状態)
- ◆下は11/9より出現し、11/14～11/15 に強く出現した八ヶ岳のCH6 観測装置の PBF近似前兆変動



10/31 夕刻より 11/7 夜まで出現した、八ヶ岳のCH15のPBF前兆波形 (11/5～11/6部分の波形)

No.1778= 5年以上前兆継続特殊前兆の続報。現在を第6期→前兆群と認識して、前兆変化から11月19日±時期を示している可能性を考えて参りました。その場合、11月16日±又は11月17日±には前兆が終息することが計算され、最近の実験観測情報で、ほぼ毎日の様に前兆出現状況と様々な可能性を検討した内容をご報告して参りました。(HPでは更新頻度が少ない状況お許し下さい)

最近の状況は、観測情報で報告のとおり、CH15-PBF出現の他、高知観測点や秋田観測点にも関連前兆が出現しております。

この状況を鑑みるに、近々に対応地震が発生する可能性は極めて考え難く、現在の第6期→前兆群の初現～極大等の関係認識が間違っている可能性が否めません。大変申し訳ありません。

11/18～19に前兆が終息した場合には、緊急で情報を配信(HPもアップ)予定ではありますが、現状は近日中の前兆終息は考えにくい状況です。CH15-PBF再出現はありませんが、最近出現した前兆の今後の動向及び継続中の前兆の動向を観測し、検討を進め、実際に第6期→が示す時期を求めたいと考えます。取り急ぎご報告まで。観測と検討を進め、続報させて戴きます。